デジタル田園都市国家構想の実現に向けた
第２期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果

◆概要

総合戦略の各目標分野のＫＰＩ（重要業績評価指標）及び取組内容を取りまとめた資料です。各ＫＰＩについて、「目標値」と「実績値」を比較し、段階的に達成度を算出しています。

◆各種KPIの達成度基準

達成度	基準
a	目標を上回る進捗である（達成） （目標指数の達成度が100以上の場合）
b	予定どおり進捗している（達成） （目標指数の達成度が90以上100未満の場合）
c	概ね予定どおり進捗している（達成） （目標指数の達成度が70以上90未満の場合）
d	目標や手段を再検討する必要がある（未達成） （目標指数の達成度が50以上70未満の場合）
e	目標や手段を抜本的に見直しする必要がある（未達成） （目標指数の達成度が50未満の場合）

※目標指数の達成度＝「目標値÷実績値×100」

～～～～～～～～～～～　　目　　次　　～～～～～～～～～～～

【基本目標１】いきいきと働くことができるまちづくり
１．ＫＰＩの進捗状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２．主な取組状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

【基本目標２】新しい人の流れづくり
１．ＫＰＩの進捗状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
２．主な取組状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

【基本目標３】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり
１．ＫＰＩの進捗状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
２．主な取組状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　27

【基本目標４】新たな時代に対応した地域づくり・人づくり
１．ＫＰＩの進捗状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34
２．主な取組状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　35

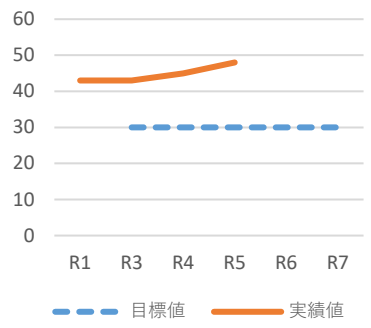
【共通目標】　新しい時代の流れを力にするまちづくり
１．ＫＰＩの進捗状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　39
２．主な取組状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　41

【基本目標１】いきいきと働くことができるまちづくり

本市の基幹産業である農業の持続的発展を図るとともに、成長が期待される産業の振興支援などにより働く場の確保に努め、市民がいきいきと安定的に働くことができるまちを目指します。

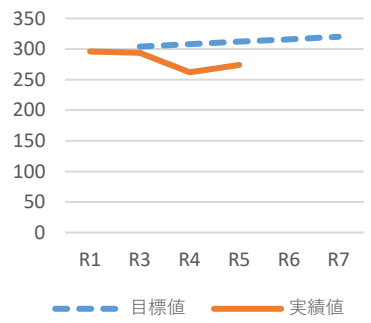
１．ＫＰＩの進捗状況

■新規就農者数



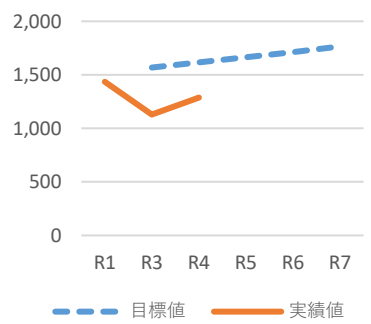
項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		30	30	30	30	30
実績値	43	43	45	48		
達成率		143.3	150.0	160.0	0.0	0.0
達成度		a	a	a	－	－
単位	人					
指標内容	農業次世代人材投資資金等の制度を活用し、新規就農した者の数。					

■農業産出額



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		304	308	312	316	320
実績値	296	294	262	274		
達成率		96.7	85.1	87.8	0.0	0.0
達成度		b	c	c	－	－
単位	億円					
指標内容	農業産出額（3月公表・前々年度推計値）					

■製造品出荷額等



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		1,568	1,615	1,664	1,713	1,765
実績値	1,435	1,129	1,287			
達成率		72.0	79.7	0.0	0.0	0.0
達成度		c	c	－	－	－
単位	億円					
指標内容	製造品出荷額等（3月公表・前々年度推計値）					

・新規就農者数については、よこて農業創生大学事業や就農支援事業等の実施により、毎年目標値を大幅に超える実績値になっている。
・農業産出額については、前年度減少に転じたものの、まざまな園芸品目を取り入れた産地づくりを進めてきた結果、増加につながった。
・製造品出荷額等については、直近の実績値が把握できていないが、近年の傾向から目標には達しないものと推測される。

２．主な取組状況

■農業経営の強化と新規就農者の確保・育成

事業名	(1)①農業経営者等育成事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	横手市園芸振興拠点センターにおいて、確かな栽培技術と優れた経営知識を持つ農業経営者の育成と新規就農に向けた農業技術向上のための研修等を実施する。				
取組内容	・新規就農者育成研修事業（研修修了生5名輩出）⇒非常勤講師3名、専門員、コーディネーターほかによる栽培、経営等の指導実施 ・農業経営実践レベルアップ事業⇒1/25土壌診断セミナー&アドバイスの開催 参加農家41名 ・市民向け野菜講習・体験事業⇒各種野菜栽培講習会（座学、圃場）全4回 延べ参加者数66名、公民館での出前講座 全2回 延べ参加者数20名、働きながら学ぶ園芸講座 全5回 延べ参加者数71名、その他各種収穫体験受入 ・各種機関との連携強化（JA秋田ふるさと、県平鹿地域振興局、福祉事業所など）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	4,572	5,002	7,043	8,309	－

事業名	(1)②戦略作物品質向上プログラム確立事業			担当課	農林部 農業振興課
事業概要	戦略作物（スイカ、きゅうり、トマト、アスパラガス）における栽培データを活用したきめ細やかな指導体制を構築し、栽培技術レベルの高位平準化により高品質化及び収量の増加を図る。（R3年度終了）				
取組内容	令和3年度終了				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	4,259	－	－	－	－

事業名	(1)③横手市農業持続的発展事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	園芸農業におけるスマート農業導入について、秋田県立大学と連携して理解を深める環境づくりを行うとともに、持続可能なホップ生産地を確立するため、栽培環境の現状・意向調査を東北大学と連携して実施する。 また、大雄農業団地センター内に大学と農家の情報交流、活動拠点を整備する。（R4年度新規）				
取組内容	・持続可能なホップ生産推進事業の取り組み 農家個別ヒアリングによる意向調査の実施、持続可能なホップ生産の実現に向けた推進プランの策定、ホップ栽培現場の省力化調査の実施 ・スマート農業理解促進事業の取り組み スマート農業講演会の実施（3/1　参加者数97名）、農作業アシスト機器勉強会の開催（3/11　参加者数9名）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	3,821	4,046	5,859	-

事業名	(2)①新規就農者レベルアップ事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	農業経営者または新たに農業を始めようとする人に対し、学習や研修の場を提供する。				
取組内容	・経営力向上に係る研修の実施　R6.2.19（参加25名） ・認定農業者協議会活動の実施 ・横手市農業近代化ゼミナール補助金の交付　32,000円 ・新規就農者フォローアップ研修の実施　R6.3.4（参加者11名）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	148	149	130	283	-

事業名	(2)②フロンティア農業者育成事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	農業経営者または新たに農業を始めようとする人に対し、県の施設において農業技術等を習得するための研修に要する経費の一部を補助する。				
取組内容	農業試験場や果樹試験場等で2年間、研修を受ける方に対して、月額10万円の研修奨励金を交付 ・研修生4名（2年目生2名、1年目生2名） ・対象者2名（2年目生1名、1年目生1名）※2年目生1名、1年目生1名は別事業の補助金活用 ・助成額　2,400千円（2名×100千円×12月）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	2,400	3,600	2,400	3,600	－

事業名	(2)③地域で学べ農業技術研修事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	農業経営者または新たに農業を始めようとする人に対し、横手市園芸振興拠点センターにおいて農業技術等を習得するための研修に要する経費の一部を補助する。				
取組内容	横手市園芸振興拠点センターで農業技術研修を受ける研修生に対して、奨励金を交付 （就農時の年齢　50歳未満：月額10万円・50歳以上65歳以下：月額5万円） ・研修生10名（2年目生5名、1年目生5名） ・対象者5名（1年目生5名）※2年目生5名は別事業の補助金活用 ・助成額3,100千円（1名×100千円×12月、1名×100千円×3月、2名×50千円×12月、1名×50千円×8月）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	10,800	1,200	3,100	9,000	－

事業名	(2)④農業次世代人材投資事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	認定新規就農者に対し、就農時の経営を安定させるための営農指導を強化するほか、必要な資金を交付する。				
取組内容	・50歳未満の新規就農者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付（年間最大150万円、最長5年間） 受給者19名（継続19名）25,434千円、事務費49千円 ・サポートチームによる経営改善に向けた指導、助言の実施				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	42,419	30,882	25,483	18,800	－

事業名	(2)⑤農業インターンシップ事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	高等学校で農業を専攻している生徒が、農業の魅力の理解や就農促進に有効なインターンシップを実施したり、研修や先進地視察等の活動に要する経費を助成する。				
取組内容	増田高校農業科学科の生徒を対象に、先進農家研修、視察研修、農業講話等を実施 （先進地視察研修1回、農業短期研修7件、農業講話6回、農産物加工作業研修3件）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	20	50	22	109	－

事業名	(2)⑥「横手で農業を」スタートアップ支援事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	就農相談会や短期研修を開催するほか、移住就農を目指す方に対して、家賃の一部を補助する。				
取組内容	・就農相談会等への出展1回（1/20　新・農業人フェアへ出展） ・就農、労働力確保に向けた検討会の実施（2回） ・よこて農業創生大学校紹介ポスター作製				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	523	434	412	1071	-

事業名	(2)⑦「横手のホップ」ステップアップ事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	ホップ生産を目指す方への研修及び研修奨励金を支給するとともにホップ生産基盤整備のための費用の一部を助成する。				
取組内容	・栽培設備、作業機械、共同利用設備・機械の修繕等に係る費用の一部助成 実績25件　1,861千円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	2,747	3,920	1,896	3,573	-

事業名	(3)①6次産業施設整備事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	漬物等の製造販売を行っている市内農業者のうち、食品衛生法改正に対応するための施設整備が必要な方に対し、整備費用の一部を助成する。				
取組内容	漬物製造販売事業等の事業継続を図るため、食品衛生法改正に対応した施設の整備への補助 ・県協調助成件数：15件（県支出金7,031千円、一般財源6,249千円） ・市単独助成件数1件（一般財源189千円）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	－	19,266	13,469	2,000	－

■成長が期待される産業の振興支援や起業・創業支援等による雇用の確保

事業名	(1)①就職情報総合ポータルサイト「ジョブナビ」構築事業			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	若者の横手市への定住を促進するため、新卒者等の若い世代を対象としたUIJターンのための就職を支援する、市内企業の求人状況や企業情報等就職情報ポータルサイトを構築する。				
取組内容	市内の企業・求人情報を提供するサイトの運用【サイト閲覧の状況（3/31現在）】 ・サイト公開事業者数：2,144件 ・閲覧ユーザー数：延べ56,106人、153人/日 ・閲覧ページ数：延べ143,478ページ、ページ393/日 ・求人検索の利用：延べ34,576回 ・企業検索の利用：延べ 7,823回				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	4,040	3,550	3,550	3,550	－

事業名	②インターンシップ促進支援事業			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	市内企業の魅力の理解や市内就職の促進に有効な制度であるインターンシップの機会を増やすため、大学生等が負担する市内企業へのインターンシップ参加に要する経費を助成する。 また、市内企業が、自社の魅力向上と経営課題の解決を目的としたインターンシップを実施するため、インターンシッププログラムの作成支援や当該プログラムの効果的な運営支援を専門家に委託する経費を助成する。				
取組内容	・横手市内企業でインターンシップを実施した学生の交通費、宿泊費等の補助金　802千円（26件） ・県内大学等へインターンシップ開拓訪問2校、東北圏（岩手・青森）の大学等へインターンシップ開拓訪問6校の旅費等73千円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	532	256	875	1,187	－

事業名	(2)①横手市起業家育成事業			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	市内で新たに起業しようとする方若しくは起業して間もない方に対し、安価で事務作業スペースを提供するとともに、起業のための経営指導、各種支援制度等の情報提供など多角的な支援を実施する。 また、起業・創業に対する助成事業を実施する。				
取組内容	・起業ワンストップ相談（相談件数117件、フォローアップ12件） ・起業・創業支援事業補助金 5,772千円(12件) ・ビジネス支援セミナー（創業機運醸成セミナー 5回30人、創業セミナー 4回32人、人材育成キャリア支援セミナー　21回159人、専門家招聘セミナー　5回54人） ・ハンズオン支援事業（経験共有型成長支援セミナー3回、伴走型経営支援3名）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	10,074	15,042	19,317	22,176	－

事業名	(2)②Bizサポートよこて費			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	新たな事業と雇用機会の創出を促進するため、県外企業のサテライトオフィス、起業家のスタートアップオフィス、横手でビジネスをする人のワークスペースとして活用できる複合活用型ビジネス施設「Bizサポートよこて」を運営する。（R4年度新規）				
取組内容	・Bizサポートよこての運営 パーソナルオフィスの入居企業：3事業者（うちサテライトオフィス利用企業2事業者） シェアオフィスの入居者　1名 コワーキングスペース利用者数　562名　前年比129.8%				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	2,662	3,939	4,267	-

事業名	(3)①地域経済牽引事業【地方創生推進交付金】			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	経済的波及効果の高い地域経済牽引事業の確実な実施を後押しし、産業振興による地域経済の振興と雇用の創出・拡大を図るため、設備投資に係る費用の一部を助成する。（R3年度終了）				
取組内容	令和3年度終了				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	3,834	-	-	-	-

事業名	(3)②BIGプロジェクト支援事業			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	一定の要件を満たす市内中小企業または新たに立地する企業に対し、設備投資等に係る経費の一部（上限設定有）を助成する。				
取組内容	対象企業なし				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	93,033	0	480,000	-

事業名	(4)①地域ビジネス発掘調査事業			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	産学官連携の取り組みの強化と企業支援アドバイザーとの連携を図り、大学や企業支援アドバイザーが有する知見の提供により、市内事業者の課題解決と新たなビジネスの発掘を通じ産業振興を図る。				
取組内容	・企業支援アドバイザーによる市内企業支援実施 企業支援アドバイザー委託料　3,840千円 ・東北大学との連携による協議会、分科会				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	3,898	3,915	3,882	2,300	-

事業名	(4)②産学共同研究支援事業			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	市内中小企業（製造業）への産学共同研究活動を支援し、市内産業の活性を図るため、大学等と製品開発や技術開発などに係る共同研究を行う際の研究経費の一部を助成する。（R4年度新規）				
取組内容	対象企業なし				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	45	0	1,000	-

事業名	(5)①IT・ソフトウェア関連産業立地優遇制度助成事業			担当課	商工観光部 企業誘致課
事業概要	地理的・気候的な制約が少なく、更なる成長が望める IT・ソフトウェア関連産業の立地を積極的に推進するために、新規に設立した法人や、既存事業の拡大をする市内法人に助成を行う。				
取組内容	・事業の紹介や説明、新規の問合せ企業へ訪問 ・既存認定企業3社に補助金を交付				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	24,140	21,295	21,128	5,120	-

事業名	(6)①中小企業人財育成支援事業			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	市内企業及び事業者の従業員の人財育成を通じ、市内企業等の雇用の安定と活性化を図るため、従業員に対し行う資格取得等の経費の一部に対し助成金を支給する。				
取組内容	資格取得した自社の従業員に対し行う資格取得等の経費の一部を補助金として交付 ・対象企業：9社　補助金額2,144千円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	1,497	1,516	2,144	－	－

事業名	(6)②中小企業設備導入支援事業			担当課	商工観光部 商工労働課
事業概要	比較的規模の小さい市内企業の生産性向上を後押しし、事業拡大や人手不足を解消するため、企業が実施する設備投資費用に対し助成金を支給する。				
取組内容	中小企業等経営強化法に基づき投資を実施する市内中小企業に補助金を交付 ・交付件数：17社、補助金交付額計：18,603千円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	14,390	22,839	18,603	24,000	－

事業名	(7)①柳田工業団地整備事業(建設)			担当課	商工観光部 企業誘致課
事業概要	輸送機関連産業のさらなる集積に加え、多様な分野の新たな企業立地を目指すため、柳田工業団地第4期造成工事を実施する。（R4年度新規）				
取組内容	・関係機関との協議 ・用地買収及び物件移転補償 ・各種業務委託（水理検討及び実施設計業務委託、管渠実施設計業務委託、耐震性貯水槽設計業務委託） ・文化財詳細分布調査（試掘調査） ・許認可申請業務（農地転用許可、開発行為許可）				
事業費 （千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	50,605	258,507	366,338	-

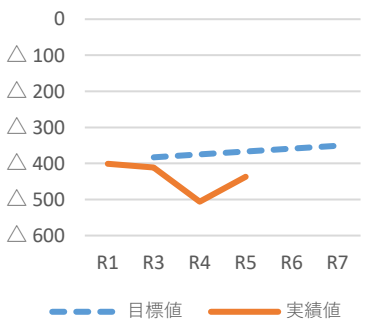
事業名	(8)①サテライトオフィス誘致推進事業			担当課	商工観光部 企業誘致課
事業概要	県外に本社を有する企業が、新たにサテライトオフィスを開設する際の経費の一部を助成する。				
取組内容	・横手第二工業団地に進出する企業でサテライトオフィスに入居した2社に補助金を交付 ・首都圏、東海圏、関西圏のIT企業等、約900社へのサテライトオフィスマーケティング調査を実施。誘致交渉をするも令和5年度の誘致に至らず（今後も調査データを活用し継続した誘致活動を実施していく）				
事業費 （千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	-	1,611	1000	-

【基本目標２】新しい人の流れづくり

豊かな自然や文化・観光資源などを最大限に生かし、交流人口の増加による市内経済の好循環と地域活性化を促すとともに、応援人口が地域課題解決のためにさまざまな分野に関わる流れを作ることで新しく人やモノの循環を生み出し、「交流人口」「応援人口」「定住人口」の3者が交わるまちづくりを進めます。

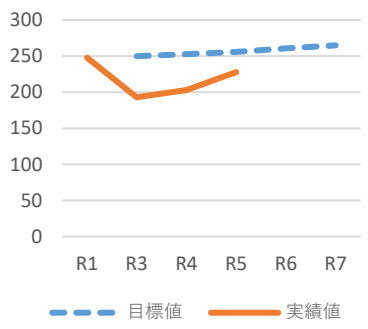
１．ＫＰＩの進捗状況

■社会増減



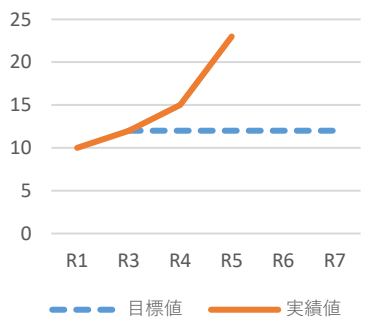
項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		△ 383	△ 375	△ 367	△ 359	△ 351
実績値	△ 401	△ 411	△ 506	△ 437		
達成率		93.2	74.1	84.0		
達成度		b	c	c	－	－
単位	人					
指標内容	秋田県年齢別人口流動調査（月報告）					

■市内の延べ宿泊者数



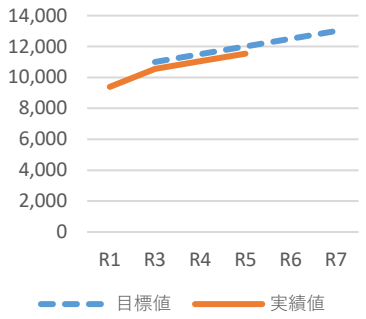
項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		250	253	256	261	265
実績値	248	193	203	228		
達成率		77.2	80.2	89.1	0.0	0.0
達成度		c	c	c	－	－
単位	千人					
指標内容	市内宿泊施設聞き取りによる宿泊者数調査の実数					

■市の関与により移住した世帯数



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		12	12	12	12	12
実績値	10	12	15	23		
達成率		100.0	125.0	191.7	0.0	0.0
達成度		b	a	a	－	－
単位	世帯					
指標内容	公益財団法人 秋田県ふるさと定住機構に登録した方で、総合戦略計画期間中に移住した世帯数					

■よこてfun通信読者数



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		11,000	11,500	12,000	12,500	13,000
実績値	9,388	10,561	11,043	11,538		
達成率		96.0	96.0	96.2	0.0	0.0
達成度		b	b	b	－	－
単位	人					
指標内容	よこてfun通信読者の実数					

・社会増減については、令和3年度並みとなっている。
・市内の延べ宿泊者数については、目標値には達していないが、令和3年度以降は右肩上りとなっている。
・市の関与により移住した世帯数については、目標値を大幅に上回っている。
・よこてfun通信読者数については、概ね目標通りとなっている。

２．主な取組状況

■文化・観光振興等による交流人口・応援人口の拡大

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">(1)①横手市情報発信戦略プロジェクト事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">総務企画部
秘書広報課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">フェイスブック、X(旧ツイッター、LINEなどのSNSをフル活用し、横手の魅力を全国へ発信するとともに、視覚的に効果がある『動画』でのPRも積極的に展開していく。
また横手市情報センターでは、行政情報のみならず、市民や企業が発信したい情報をこれまで以上に積極的に収集し、さまざまな形でアウトプットすることで、より効果的な情報発信を行う。</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">横手市情報発信戦略プロジェクト事業を実施
・横手市情報センター・横手市公式LINE管理運営委託
①情報管理数1,102件（市役所598件、市民64件、Yokotter440件）
②デジタルサイネージ掲載数　39,551件
・各種公式SNS等による情報発信数（Facebook：235回、YouTube：85回、LINE：54回、X：193回、Instagram：130回）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>R3決算額</td><td>R4決算額</td><td>R5決算額</td><td>R6当初予算額</td><td>－</td></tr>
<tr><td>3,847</td><td>3,233</td><td>3,220</td><td>4,460</td><td>－</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">(2)①増田まんが美術館情報発信強化事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">まちづくり推進部
横手の未来ともにつくる課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">増田まんが美術館の認知を広げるとともに、まんが美術館と「増田の町並み」を連携し一体的な観光拠点として相乗効果を図る。</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">・横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画に基づくマンガを求心力にしたユニークベニュー事業の実施
・横手市増田まんが美術館の情報発信
マンガ瓦版の発行（4回）、PRサポーター事業（新規登録6件・計35件、年4回サポーター通信の発行）、エヴァンゲリオン大博覧会（入館者数25,683人）のPRとしてふるさと村、本庁舎、かまくら館、道の駅十文字、秋田空港におけるのパネル設置及び二十歳のつどい参加者（798人）への招待券配布を実施</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>R3決算額</td><td>R4決算額</td><td>R5決算額</td><td>R6当初予算額</td><td>－</td></tr>
<tr><td>6,123</td><td>4,194</td><td>4,475</td><td>3,637</td><td>－</td></tr>
</table>

事業名	(2)②増田まんが美術館費(債務負担含)			担当課	まちづくり推進部 横手の未来ともにつくる課
事業概要	国内初のマンガ原画の収蔵・展示に重点を置いた美術館として、市民をはじめ国内外の人々から親しまれる特色ある美術館運営を進める。				
取組内容	・文化振興課マンガ戦略係の総務的経費を支出 名誉館長（高橋よしひろ先生）及びマンガ活用アドバイザー（佐藤真一氏、吉村和真氏）に対する謝礼金（会議3回、現地における指導助言3回）を支出したほか、増田まんが美術館指定管理に関する基本協定に基づく施設修繕（冷温水発生装置、コンベンションホール調光卓、駐車場街灯2基）及び国道342号から来館者を円滑に誘導するため案内看板を更新 ・みちのくマンガロードスタンプラリーを構成自治体（宮城県石巻市、登米市、岩手県遠野市）を連携して実施				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	3,769	7,690	4,722	8,258	-

事業名	(3)①横手産品販路拡大推進事業			担当課	商工観光部 横手の魅力営業課
事業概要	首都圏や仙台圏の店舗催事等を活用した農産品・農産加工品のPR・販促活動を実施する。また、農業生産者とバイヤーとのマッチングや商談機会の創出による定期商流の確立に向けた支援を行う。				
取組内容	・首都圏での販売促進　2,290千円（九州屋2回、サカガミ2回） ・仙台圏での販促活動、催事支援　546千円（八百長商店14回）、その他販路拡大事業　1,102千円（ことと や他） ・商談機会創出による農産品等の販路拡大支援（23回） ・首都圏飲食店での横手産食材を使用したメニューの提供（市内9事業者14品目を使用）、横手産食材を使用いただいている首都圏飲食店へのプッシュ営業（10店舗）･･･外食企業向け事業1,425千円 ・売れる商品作りのためのテロワールや魅力の伝え方に関するセミナーの開催141千円（参加者28名）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	4,161	6,795	5,504	9,695	-

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">(3)②海外販路マネジメント事業</td><td>担当課</td><td>商工観光部
横手の魅力営業課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">海外販路開拓・拡大に意欲的な事業者に対する支援を行い、地域経済の活性化に資するとともに、横手の魅力を発信することで海外の横手ファン獲得と観光誘客につなげる。</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">・海外販路アドバイザーの委嘱　270千円（アドバイザー料金）、208千円（現地商談随行）
・マカオ日本食品取扱商社への商品輸出支援（市内3事業者、輸出回数22回）
・新規ターゲット国 マレーシアへの新規販路開拓の取り組み　1,280千円（市内17事業者32商品の提案）
・海外販路拡大に係る各種研修受講（海外ビジネス人材育成塾5回、海外に視野を広げる研修4回）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>R3決算額</td><td>R4決算額</td><td>R5決算額</td><td>R6当初予算額</td><td>－</td></tr>
<tr><td>375</td><td>705</td><td>1,758</td><td>－</td><td>－</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">(4)①応援人口拡大事業</td><td>担当課</td><td>商工観光部
横手の魅力営業課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">横手の魅力を発信する情報紙「よこてfun通信」の発行を通じ、交流人口と応援人口の増加を図り、物産振興による地域経済の活性化を促進する。</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">・よこてfun通信　年4回発行（令和5年度3月号時点の定期読者数11,538人）
・新規読者獲得に向けた取組みの実施（新規読者紹介キャンペーン、市内高校3年生へのチラシ配布SNS発信等）
横手応援拠店事業の実施（836千円）
・候補店舗への訪問による「横手応援拠店」の登録推進（登録数17店舗）、HPや「よこてfun通信」による登録店舗情報の発信、横手産食材のサンプル送付（取引成立1件）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>R3決算額</td><td>R4決算額</td><td>R5決算額</td><td>R6当初予算額</td><td>－</td></tr>
<tr><td>12,327</td><td>13,954</td><td>15,166</td><td>16,877</td><td>－</td></tr>
</table>

事業名	(5)①応援人口との関係深化事業			担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課
事業概要	横手市に住んでいなくても継続的に多様な関わりを持ってくれている応援人口とともに課題解決に取り組むため、大規模イベントや首都圏でのイベント等を通じて応援意識の醸成と底上げを図るとともに、横手の課題応援事業としていくつかのメニューを企画・実施し、応援市民による地域課題への具体的な応援・支援といった取り組みの深化を図る。				
取組内容	・横手応援市民学校「なべっこ遠足in仙台」R5年10月2日　参加者42名 旅費185,900円　消耗品費272,773円　通信運搬費6,965円　手数料14,905円　委託料409,057円　使用料388,300円 ・関係人口スキルアップセミナーin茨城 旅費83,820円　負担金22,000円				
事業費 （千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	1,972	3,125	1,379	－	－

事業名	(6)①インバウンド対応事業			担当課	商工観光部 観光おもてなし課
事業概要	秋田県との合同により台湾やタイを主なターゲットとしたPR事業を実施するほか、多言語表記による案内板の設置、おもてなし講習会の開催など、外国人観光客受け入れと誘客のための各種事業を展開する。 また、台湾の大学との連携により、応援人口のネットワークを活用し、中国語サイトやガイドブックを作成するなど、台湾人旅行者に向けた誘客を積極的に推進する。				
取組内容	横手市への誘客を図るための活動の実施 ・海外向け情報発信事業者招聘　2/14～17　2名　330千円 ・台湾トップセールス　8/22～25　422千円、タイトップセールス　31千円 ・国際的産学官連携事業 7/31～8/31 台湾大同大学生 7名（市内受入企業7社）4,147千円 ・観光庁補助金「ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ向け体験ｺﾝﾃﾝﾂ造成事業」6,290千円（3商品造成） ・台湾台北秋季国際旅行展出展経費 1,070千円（9/6～12 参加者2名）・ノベルティほか　715千円				
事業費 （千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	6,839	5,551	13,005	8,006	－

事業名	(6)②地域資産活用地域計画推進事業			担当課	商工観光部 観光おもてなし課
事業概要	横手市増田まんが美術館と「増田の町並み」を連携し、一体的な観光拠点として魅力を発信しながら、観光客等の市内回遊を促進し、波及効果を図る。				
取組内容	「横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画」に基づく事業 ・観光情報の発信、増田Wi-Fi運用 役務費　増田Wi-Fi通信回線使用料　140千円、委託料 3,759千円 ・Wi-Fi保守　1,278千円 ・デジタルサイネージ保守　1,161千円 ・SNSによる情報発信強化事業　1,320千円（文化庁補助）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	19,633	10,295	3,899	3,778	-

事業名	(6)③横手の冬ブランド化事業			担当課	商工観光部 観光おもてなし課
事業概要	冬の伝統行事「かまくら」を全国発信するとともに、受入体制を強化し誘客を図る。				
取組内容	横手市の誘客とイメージアップのためのＰＲ活動を実施し「横手の冬」のブランド化を図る ・出前かまくら（6カ所開催※東京タワー12/29～12/30、大阪府大東市1/6～1/8、市川市1/13～14、大阪国際空港1/19～1/21、加古川市1/27～1/28、新玉川温泉※制作のみ）6,572千円 ・横手の雪まつり（かまくら製作、梵天奉納祭経費ほか）3,117千円 ・補助金（かまくら木戸五郎兵衛村イベント）665千円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	5,120	33,232	10,354	10,897	-

事業名	(6)④関西圏観光客誘致事業			担当課	商工観光部 観光おもてなし課
事業概要	関西圏(大阪府)での雪まつりイベントを実施し、関西圏における当市の認知度を高め、関西圏の観光客及び訪日外国人観光客の誘客を積極的に推進する。				
取組内容	関西圏からの誘客及び大阪万博参加に向けた事業実施 ・秋田竿灯サマーフェスタ（7/8、7/9） ・天神橋2丁目商店街観光物産展（10/20、10/21） ・横手の雪まつりin大阪城公園（12/9、12/10、来場者5万人） ・大阪国際空港雪まつり（1/19～1/21） 報償費258千円、旅費2,298千円、委託料16,383千円、会場使用料302千円、その他680千円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	－	－	19,921	24,747	－

事業名	(6)⑤横手版オンデマンド・エアポートライナー運行事業			担当課	商工観光部 観光おもてなし課
事業概要	秋田空港から当市へのアクセス向上のため、横手版オンデマンド・エアポートライナーを運行する。				
取組内容	令和6年度新規事業				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	－	－	－	5,000	－

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">(7)①よこて観光地域づくり推進事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">商工観光部
観光おもてなし課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">「観光地経営」の視点をもって地域の稼ぐ力を引き出し、「観光地域づくり」の舵取り役となる（一社）横手市観光推進機構と連携し、来訪者にとっては「訪れて良し」、住民にとっては「住んで良し」の環境づくりを進める。</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">（一社）横手市観光推進機構への事業費補助
・観光エキスパート推進事業　440千円（作品展示会、FAMツアー受入、エキスパート体験販売システム構築）
・横手駅前賑わい創出事業 800千円（JR横手駅東口まつり2023　来場者数3,000人）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>R3決算額</td><td>R4決算額</td><td>R5決算額</td><td>R6当初予算額</td><td>－</td></tr>
<tr><td>2,529</td><td>6,700</td><td>1,240</td><td>1,240</td><td>－</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">(8)①大型公共施設整備事業(建設)</td><td>担当課</td><td colspan="2">総務企画部
大型公共施設整備室</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">市民サービスの向上や防災機能の強化、交流人口の増大による地域経済の活性化等を図るため、老朽化した横手体育館及び横手市民会館の移転建替え整備を行う</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">【横手体育館】
・継続費逓次繰越分　実施設計 75,391千円、建設工事 273,442千円
・現年度分　実施設計 32,311千円、造成工事 45,022千円、建設工事 489,568千円、地中熱利用設備導入調査 9,680千円

【横手市民会館】
・継続費逓次繰越分　実施設計 91,408千円
・現年度分　実施設計 39,175千円、造成工事 118,517千円、耐震性防火貯水槽新設工事 12,415千円、既存施設解体工事 101,662千円、既存施設移転補償費 42,064千円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>R3決算額</td><td>R4決算額</td><td>R5決算額</td><td>R6当初予算額</td><td>－</td></tr>
<tr><td>－</td><td>－</td><td>1,351,608</td><td>2,960,644</td><td>－</td></tr>
</table>

事業名	(9)①生涯学習館利用促進事業			担当課	まちづくり推進部 生涯学習課
事業概要	横手駅東口の生涯学習館「Ao-na」の開館に合わせ、開館記念イベントを実施するとともに、様々なソフト事業を展開し、施設の利用促進を図る。				
取組内容	令和6年度新規事業				
事業費 （千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	-	-	6,518	-

■移住・定住の促進

事業名	(1)①移住定住促進事業			担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課
事業概要	移住定住促進のサイクルとして、移住検討段階の方々への情報発信強化、オンライン相談対応や大規模相談会等への出展、移住コンシェルジュ・アドバイザーを活用したきめ細かな相談対応といった取り組みを実施し、後悔のない移住へとつなげる。また、東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人手不足の解消を図るため、地方創生推進交付金を活用し、移住支援金の支給を行う。（R1年度～拡大）				
取組内容	・移住マッチングWEBサービスの利用　使用料297,000円 ・相談対応件数16件（窓口1件、電話3件、ほか12件）・移住者実績：23世帯・51名 ・首都圏移住相談会等への出展（Ａターンフェア2回）　旅費78,840円 ・定住促進パンフレットの作成（400部）　印刷製本費46,200円 ・移住支援金の支給（世帯100万円×2件、子育て加算30万円×3件、子育て加算100万円×2件）補助金4,900,000円				
事業費 （千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	4,043	4,962	7,087	8,401	-

事業名	(2)①移住就農者経営安定支援事業			担当課	農林部 食農推進課
事業概要	県外から移住し、新たに農業経営を開始する者を対象に、営農開始時の立ち上げ経費の軽減を図る目的で経費の一部を支援する。（R3年度終了）				
取組内容	令和3年度終了				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	500	-	-	-	-

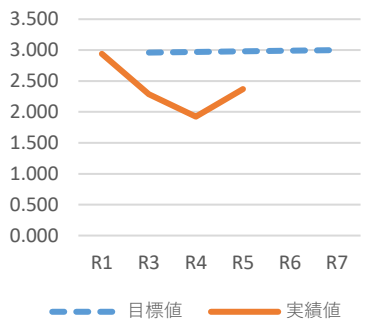
事業名	(3)①奨学金返還支援事業			担当課	教育指導部 学校教育課
事業概要	修学意欲のある学生の奨学金返還に対する経済的不安の低減と、地元への定住や次世代を担う人材確保を推進するため、市内に就職し、定住の意思を持って居住しており、県奨学金返還助成金の交付決定を受けている方を対象に、奨学金返還金の一部を支援する。（R4年度新規）				
取組内容	奨学金返還に対する助成 ・一般分（年返還額の1/3：上限8万円）54人　2,963千円 ・未来創生分（年返還額から県助成額を控除した額：上限4万円）2人　　80千円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	3,186	3,106	4,662	-

【基本目標３】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり

若い世代が将来に不安なく結婚し、希望する時期に安心して出産や子育てができる環境をつくり、市民の結婚や出産、子育てに関する希望がかなうまちを目指します。

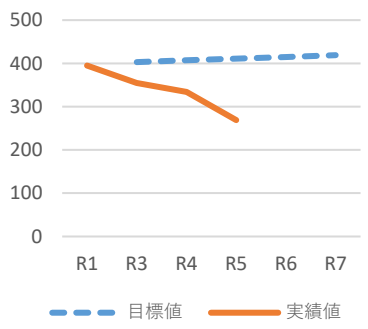
１．ＫＰＩの進捗状況

■婚姻率



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		2.960	2.970	2.980	2.990	3.000
実績値	2.940	2.285	1.924	2.372		
達成率		77.2	64.8	79.6	0.0	0.0
達成度		c	d	c	－	－
単位	－					
指標内容	婚姻率＝年間婚姻件数（n年度）÷人口（n年10月1日現在の人口）×1000					

■出生数



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		403	407	411	415	419
実績値	395	355	334	269		
達成率		88.1	82.1	65.5	0.0	0.0
達成度		c	c	d	－	－
単位	人					
指標内容	秋田県年齢別人口流動調査					

・婚姻率については、近年で最も高い実績値となっている。
・出生数については、依然として減少傾向となっていることから、様々な取り組みを進めていく必要がある。

２．主な取組状況

■結婚を希望する若い世代へのアプローチ

事業名	(1)①若者交流促進事業			担当課	総務企画部 経営企画課
事業概要	市内の地域資源等を活用した「街コン」や「趣味コン」など、独身男女が気軽に楽しむことができる出会いの場を創出し、交際ひいては結婚につなげる。				
取組内容	・独身男女向けの出会いイベント開催補助2件（1,198千円）、参加者延べ44人（男性24人、女性20人） ・あきた結婚支援センター入会登録料の負担（一人10千円）、交付件数26件				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	1,010	1,467	1,458	6,700	－

事業名	(1)②結婚新生活支援事業			担当課	総務企画部 経営企画課
事業概要	新婚世帯（夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ夫婦の合計所得が400万円未満の世帯）が結婚に伴う新生活スタートにかかる住居費や引っ越し費用などを助成する（1世帯あたり上限30万円）。				
取組内容	夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得500万円未満（世帯年収約680万円未満）の新規に婚姻した世帯に対して、婚姻に伴う住宅取得、住宅リフォーム、住宅賃借又は引越費用の一部を助成 ・補助上限　夫婦共に29歳以下：60万円、左記以外：30万円 ・交付実績　34件　※うち13件は令和6年度に継続申請予定				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	3,801	5,954	11,542	8,700	－

事業名	(1)③三世代等同居等促進住まい支援事業			担当課	総務企画部 経営企画課
事業概要	子育て世帯（中学生以下の子どもをもつ世帯）が、新たに親元等と同居又は近居しようとする場合に必要な費用（当該世帯の住宅取得費用、当該世帯又は親元等が所有する住宅の増改築等）の一部を助成する（補助金の一部は横手市共通商品券による）。（R4年度終了）				
取組内容	R4年度終了				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	6,900	13,600	－	－	－

■安心して子どもを産み育てられる環境のさらなる向上

事業名	(1)①男女共同参画社会推進事業			担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課
事業概要	男女共同参画意識普及啓発のため、市報やホームページ等による啓発のほか、イベントや研修会等を開催する。				
取組内容	・横手市男女共同参画推進協議会（6/27・11/14開催） 事業費（委員謝礼等）：78千円 ・横手市男女共同参画フェスティバル（2/24開催） 参加者：延べ472人 事業費（講師謝礼等）：299千円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	142	388	457	463	－

事業名	(2)①ワークスタイル研修受講支援事業			担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課
事業概要	働き方の改革に敏感で、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組む企業を増やすため、企業や事業所向けにワークライフバランスやハラスメント対策等に関する研修等を実施する。				
取組内容	働き方改革に対応し、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組む企業を増やすため、管理職層向けと従業員向けと対象を分けて、ワークライフバランスに関する講演会・研修を実施 ■管理職向け講演会：11/7　参加者14名　事業費（委託料）110千円 従業員向け研修：7/25・8/10・10/3・10/26　参加者計67名　事業費（講師謝礼等）151千円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	1,077	858	261	600	－

事業名	(3)①福祉医療費			担当課	市民福祉部 国保市民課
事業概要	中学生までの医療費の自己負担を無料化する。（R5年8月から高校生）				
取組内容	受給者14,344人（年度末時点）に対して、受給者証の交付・更新等の事務を実施 ・審査支払手数料　13,578千円 ・システム改修（令和5年8月より乳幼児及び小中学生の区分の対象を高校生へ拡大、令和6年8月に障がい者区分の対象へ精神障害者保健福祉手帳1級所持者を追加、帳票等について性別を非表示）を実施 現物給付及び現金給付にて福祉医療費を給付 ・対象者（年度末）14,344人 令和5年8月より乳幼児及び小中学生の区分の対象を高校生まで拡大（市単独）したことにより対象者数、給付費ともに増加				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	725,896	684,442	759,786	753,856	－

事業名	(4)①子どものための教育・保育給付費			担当課	市民福祉部 子育て支援課
事業概要	保育所や認定こども園などの利用料について県と市で助成し、保護者の負担を軽減する。また、幼児教育・保育の無償化により保護者負担となった3歳以上の子どもの副食費（おかずやおやつ）について、県の助成に、さらに市で上乗せ助成をし、実質無償化とする。				
取組内容	《施設型給付費等》 ・市内外の私立保育所、認定こども園、事業所内保育所へ支援 《すこやか扶助費》 ・認可外保育施設、認定こども園、市外公立保育所を利用する児童に対し保育料の助成を実施 ・幼保無償化により保護者負担になった副食費の助成を実施				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	2,932,084	2,805,289	2,873,169	2,862,048	-

事業名	(4)②多子世帯応援事業			担当課	市民福祉部 子育て支援課
事業概要	多胎児や第3子以降の子がいる家庭の第2子以降の3歳未満児にかかる保育料を全額助成する。（R5年度新規）				
取組内容	・下記の要件に該当する子を持つ家庭の3歳未満児にかかる保育料について全額助成を実施 ①多胎児　②第3子以降の子がいる家庭の第2子以降 ・補助金交付世帯57世帯（延べ人数85人）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	-	8,487	11,000	-

事業名	(5)①病児保育事業			担当課	市民福祉部 子育て支援課
事業概要	病気及び病気の回復期にある子どもが保育所などでの集団生活が困難な場合、専用施設や保育所において一時的に保育するほか、保育中に体調不良になった子どもを保育所の医務室などで緊急対応する。				
取組内容	・病児・病後児対応型の病児保育事業を委託により実施 ・体調不良児対応型を実施する私立保育所等に対し補助金を交付 病児対応型　　医療機関1ヶ所 病後児対応型　私立保育所1ヶ所 体調不良児対応型　私立保育所等12ヶ所				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	48,556	46,308	53,834	73,124	－

事業名	(6)①公園管理費(大森地域)(建設)			担当課	まちづくり推進部 大森地域課
事業概要	大森リゾート村にある「子どもの広場」の魅力アップを図り、地域の活性化と賑わいの創出へつなげるため、シンボルとなる大型遊具を設置する。（R4年度新規・終了）				
取組内容	都市公園等の維持管理経費（清掃、除草、施設の保守点検等） 会計年度任用職員報酬・期末手当・費用弁償4,513千円、需用費1,197千円、シルバー人材委託料（公園/芝桜）2,855千円、浄化槽保守委託料321千円ほか				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	－	9,827	10,614	11,533	－

事業名	(7)①産後ファミリー応援事業			担当課	市民福祉部 子育て支援課
事業概要	出産後から1歳に達するまでの乳児を養育する世帯が、家事代行サービスを利用する費用の一部を助成する。（R5年度新規）				
取組内容	・出産後から子が１歳に達するまでの乳児を養育する世帯を対象に、家事代行サービス利用料を助成 ・利用件数（423件×6,000円）2,538,000円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	-	-	4,504	11,552	-

事業名	(8)①不妊治療費助成事業			担当課	市民福祉部 健康推進課
事業概要	一般不妊治療、不育症治療、特定不妊治療を行う夫婦の治療費について助成を行う。				
取組内容	・不妊治療費（一般・特定・不育症治療費）助成事業 一般不妊治療費助成　55件　4,055,610円 特定不妊治療助成費　23件　869,730円 不育症治療費　1件　5,010円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	-
	6,006	4,265	5,013	10,867	-

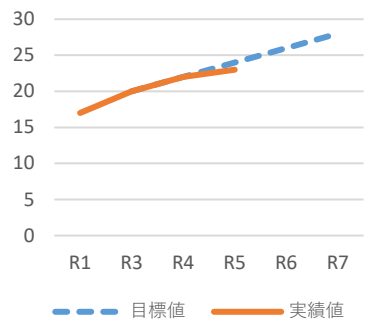
<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">(9)①小児予防接種電子化事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">市民福祉部
健康推進課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">簡単・安心な小児予防接種サービスを実施するため、電子母子健康手帳を活用した小児予防接種の電子運用を実施する。（R5年度新規）</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">電子母子健康手帳および小児予防接種電子化サービスの導入と運用管理
・令和5年12月から電子母子健康手帳「よこて子育てワクチンナビ」の運用を開始
・令和6年2月に年度年齢11歳までを迎える約5,400名の保護者へ小児予防接種電子化サービス利用登録用QRコードを送付
・令和6年3月から市内10医療機関にて小児予防接種電子化サービスの市民利用開始</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>R3決算額</td><td>R4決算額</td><td>R5決算額</td><td>R6当初予算額</td><td>－</td></tr>
<tr><td>－</td><td>－</td><td>7,190</td><td>2,569</td><td>－</td></tr>
</table>

【基本目標４】新たな時代に対応した地域づくり・人づくり

新しい時代にふさわしい横手の未来を切り拓く若者が活躍し、誰もが安全で安心に生活できるまちづくりを進めます。

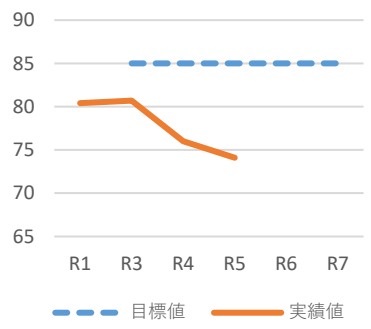
１．ＫＰＩの進捗状況

■自主運営組織数



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		20	22	24	26	28
実績値	17	20	22	23		
達成率		100.0	100.0	95.8	0.0	0.0
達成度		b	b	b	－	－
単位	団体					
指標内容	自主運営組織数					

■市に住み続けたいと思う市民の割合



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
実績値	80.4	80.7	76.0	74.1		
達成率		94.9	89.4	87.2	0.0	0.0
達成度		b	c	c	－	－
単位	人					
指標内容	まちづくりアンケート「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合					

・自主運営組織数については、概ね目標通りの進捗となっている。
・市に住み続けたいと思う市民の割合については、近年では最も低い数値となっているが、これまでの傾向なども踏まえて継続的に確認する必要がある。

２．主な取組状況

■横手で活躍できる人材の育成

事業名	(1)①「横手を学ぶ郷土学」推進事業			担当課	教育総務部 文化財保護課
事業概要	小学生から中学生まで総合的に活用できる「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」等を通じ、郷土に愛着と誇りをもった子どもを育成する。また、地域の伝統芸能等が次世代につながるよう支援する。				
取組内容	・よこてを学ぶ郷土学総合テキストを小中学校の総合学習等で活用 ・市内の無形民俗行事等のデジタル映像作成を実施（13行事作成				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	2,209	54	2,204	5,324	－

事業名	(2)①次世代ものづくり人材育成事業			担当課	教育指導部 教育指導課
事業概要	望ましい勤労観や職業観の育成を図るため、小学生を対象とした職場見学ツアーや、中学生を対象とした職場体験学習受入事業所リスト整備等を実施する。				
取組内容	・「ものづくり交流会」8/1～8/2 県立大学より講師を招いて実施　技術分野12名・家庭分野14名　合計26名 「小学生職場見学ツアー」8/8開催　プレステージ・アスター13名 「プログラミング教室」1/12条里南庁舎で開催　トイドローン等を使用したプログラミング体験20名 ・「職場体験受入事業所（“未来体験”応援団）」の整備				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	33	143	145	161	－

事業名	(3)①マンガ活用推進事業			担当課	まちづくり推進部 文化振興課
事業概要	マンガを活用した教育を推進するため、市内小中学校の児童、生徒を対象としたマンガ教室等を開催する。また、県内外の小中学校を対象に教育旅行の誘致を行う。				
取組内容	・横手市ミライの漫画家発掘マガジン制作プロジェクト （作品掲載者数　小学生77名・中学生26名／マガジン製本数602頁・250冊／配布先　応募者・市内公共施設・市内小中学校等） ・マンガ版ビブリオバトル（エントリー数6人、来場者数約100名） ・まんが美術館を活用した市内小中学校との連携（校外学習等受入れ）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	3,117	3,382	3,684	8,684	－

■安心で暮らしやすい地域社会の維持

事業名	(1)①地域運営組織形成支援事業			担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課
事業概要	地域運営組織形成に向け、地域住民を対象としたワークショップ、先進地視察、研修等を実施する。				
取組内容	・組織形成に向けた支援①十文字（4～11月3回、アンケート調査9月、回答数825票）委託料220千円②浅舞（7～3月5回）委託料495千円 ・各種研修の実施①地区交流センター職員、運営協議会委員向け研修（6～1月4回、延べ75名）委託料473千円②センター事務補助員研修（11月23名） ・地区交流センター大交流会（開催日：2月1日、参加者：約160人）事業費361千円（講師謝礼等）				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	2,667	1,669	2,169	5,519	－

事業名	(2)①地域づくり市民活動補助事業			担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課
事業概要	豊かな地域社会を実現するため、地域住民による自主的・主体的なまちづくり活動や地域課題活動に対し補助する。				
取組内容	交付件数　74件　交付実績額　19,160千円 ・自主運営組織,地区会議事業　交付件数45件　交付実績額　9,128千円 ・非営利団体　地域課題解決型事業　交付件数6件　交付実績額　1,034千円 ・非営利団体　イベント型事業　交付件数7件　交付実績額　2,177千円 ・旧元気の出る地域づくり事業　交付件数16件　交付実績額　6,821千円				
事業費 （千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	9,337	15,320	19,160	23,682	－

事業名	(3)①町内会活動補助事業			担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課
事業概要	自治会、町内会、集落等が行う活動（環境保全、地域活性化、伝統文化継承、福祉、防災防犯、世代間交流）やコミュニティ活動に必要な備品整備に要する経費に対し補助する。				
取組内容	・地域活動補助金　交付件数51件　交付実績額　2,143千円 （横手7件　394千円、増田10件　401千円、平鹿11件　340千円、雄物川2件　88千円、大森4件　199千円、十文字6件　261千円、山内4件　205千円、大雄 7件　255千円） ・備品整備補助金　交付件数22件　交付実績額　3,030千円				
事業費 （千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	1,755	2,185	5,137	8,300	－

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">(4)①町内会館等建設補助事業</td><td>担当課</td><td>まちづくり推進部
地域づくり支援課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">自治活動の拠点となる集会施設等の整備（新築・改築、土地購入、建物補修）に要する経費に対し補助する。</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">交付件数　20件　交付実績額　3,270千円
改修　19件　交付実績額　3,123千円
新築　1件　交付実績額　147千円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>R3決算額</td><td>R4決算額</td><td>R5決算額</td><td>R6当初予算額</td><td>－</td></tr>
<tr><td>3,175</td><td>3,002</td><td>3,270</td><td>6,400</td><td>－</td></tr>
</table>

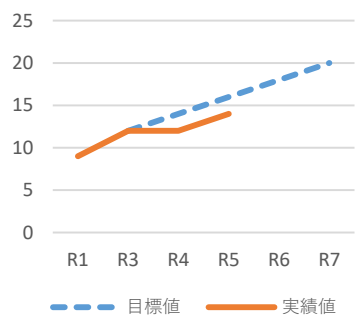
【共通目標】新しい時代の流れを力にするまちづくり

Society5.0の実現に向けた技術（未来技術）の進展は、人口減少や少子高齢化の課題に対処することや、サービスの利便性を高め、産業や生活の質等の向上が期待されるため、基本目標1～4の共通目標に掲げて取り組みます。

また、デジタル技術の活用により、市民生活の質の向上や地域の課題解決、さらには新たな地域価値の創造へのチャレンジなど、さまざまなシーンにおいてデジタル技術の実装に取り組みます。

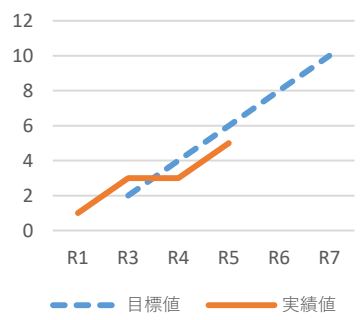
１．ＫＰＩの進捗状況

■ICTを活用した市民サービス向上の仕組み数



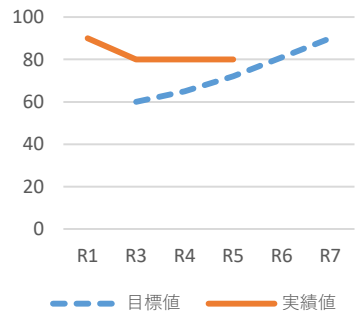
項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		12	14	16	18	20
実績値	9	12	12	14		
達成率		100.0	85.7	87.5	0.0	0.0
達成度		b	c	c	－	－
単位	件					
指標内容	ICTを活用した市民サービス向上（スマホアプリ、SNSなど）					

■革新的ICT技術の活用数



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		2	4	6	8	10
実績値	1	3	3	5		
達成率		150.0	75.0	83.3	0.0	0.0
達成度		a	c	c	－	－
単位	件					
指標内容	業務取得（AI、AI-OCR、キャッシュレス等）					

■ICTを使った授業がよくわかって楽しいと思う児童生徒の割合



項目	現状値	年度別実績				
	R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
目標値		60.0	65.0	72.0	81.0	90.0
実績値	90.0	80.0	80.0	80		
達成率		133.3	123.1	111.1	0.0	0.0
達成度		a	a	a	－	－
単位	%					
指標内容	児童生徒に対するアンケート					

・ICTを活用した市民サービス向上の仕組み数については、ほぼ目標どおりの取組結果となっており、引き続き利便性向上のための取り組みを推進する必要がある。
・革新的ICT技術の活用数についても、キャッシュレス決済やRPAなどの導入により、ほぼ目標どおりの結果となっている。
・ICTを使った授業がよくわかって楽しいと思う児童生徒の割合については、昨年度と同じ割合となっており、目標を達成している。

２．主な取組状況

■Society5.0の実現に向けた取り組みの推進

事業名	(1)①スマート農業普及支援事業			担当課	農林部 農業振興課
事業概要	秋田県立大学との連携協力協定に基づき、スマート農業機械を使用した実証試験等を行い、従来作業の労働時間等を比較するための作業データの収集や市内農事組合法人への周知により、スマート農業の普及を図る。（R4年度新規）				
取組内容	スマート農業講演会事例発表報奨金　20,000円 ・先進地視察、研修参加旅費　177,200円				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	17,491	40,960	197	－	－

事業名	(1)②スマート農業実装支援事業			担当課	農林部 農業振興課
事業概要	土地利用型作物におけるスマート農業技術を導入する経費の一部を助成する。（令和5年度新規）				
取組内容	・大型作業機械導入費の一部補助、産業用ドローン導入費、認定証取得費の一部補助ほか 国補助15件　事業費　31,856千円　補助金額　8,875千円(※田植機2、ドローン6、ドローン認定証取得3、アシストスーツ3、トラクター1) 市単独6件　事業費　38,371千円　補助金額 10,463千円(※田植機4、トラクター2)				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	－	－	19,338	10,000	－

事業名	(2)①小中学校ICT環境整備事業（建設）			担当課	教育総務部 教育総務課
事業概要	新しい時代に必要とされる情報活用能力の育成や、ICTを効率的に活用した分かりやすく深まる授業の実現等を図るため、小中学校のICT環境整備の促進に取り組む。				
取組内容	・該当事業無し				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	22,375	16,728	0	27,584	－

■デジタルの力を活用した取り組みの深化

事業名	(1)①ICT活用サービス推進事業			担当課	総務企画部 経営企画課
事業概要	行政サービスにおける市民や事業者等の利便性の向上を図るため、行政手続のオンライン化やICTを活用した行政サービスの検討及び導入に取り組む。（R4年度新規）				
取組内容	・行政手続オンライン化ツール「LoGoフォーム」年間利用料　1,927千円、作成件数149件 ・音声テキスト変換AIシステム「eRex」年間利用料（R5.8～R6.3月）188千円、利用件数113件 ・生成AIトライアルの実施				
事業費（千円）	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6当初予算額	－
	－	2,179	2,115	3,376	－

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">(2)デジタル田園都市国家構想交付金事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">総務企画部
経営企画課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">①セルフで貸出「スマート図書館システム」構築事業
②誰一人取り残さない「シームレス避難所」構築事業
③みんなにやさしい「リモート＋α相談窓口」構築事業
④担い手を支える「スマート農業」実装支援事業
（R5年度新規）</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">①セルフで貸出「スマート図書館システム」構築事業　43,422千円
②誰一人取り残さない「シームレス避難所」構築事業　21,475千円
③みんなにやさしい「リモート＋α相談窓口」構築事業　1,820千円
④担い手を支える「スマート農業」実装支援事業　19,338千円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>R3決算額</td><td>R4決算額</td><td>R5決算額</td><td>R6当初予算額</td><td>－</td></tr>
<tr><td>－</td><td>－</td><td>86,055</td><td>－</td><td>－</td></tr>
</table>